

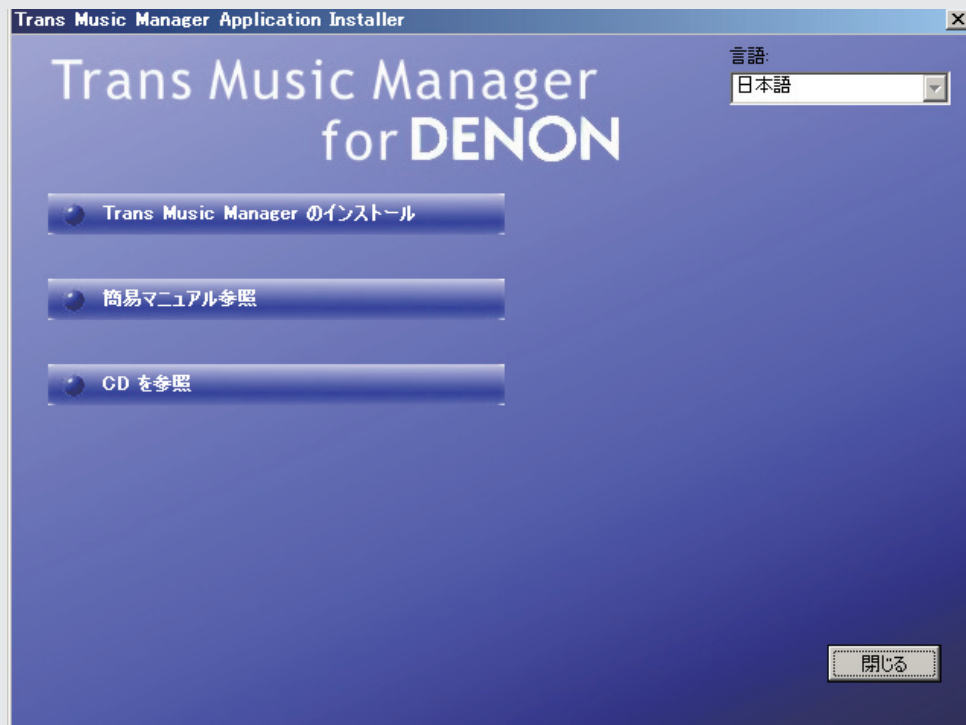
DENON

Trans Music Manager for DENON

取扱説明書

Trans Music Manager をインストールする

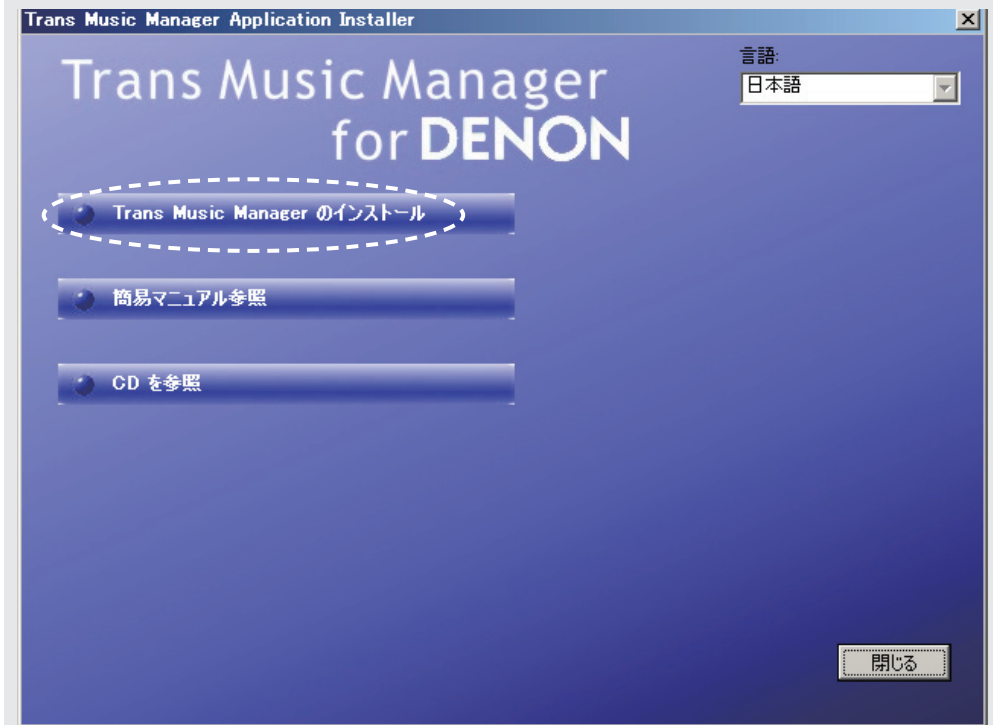
- 1** 付属の CD-ROM (Trans Music Manager) をパソコンにセットする。
トップメニューが表示されます。



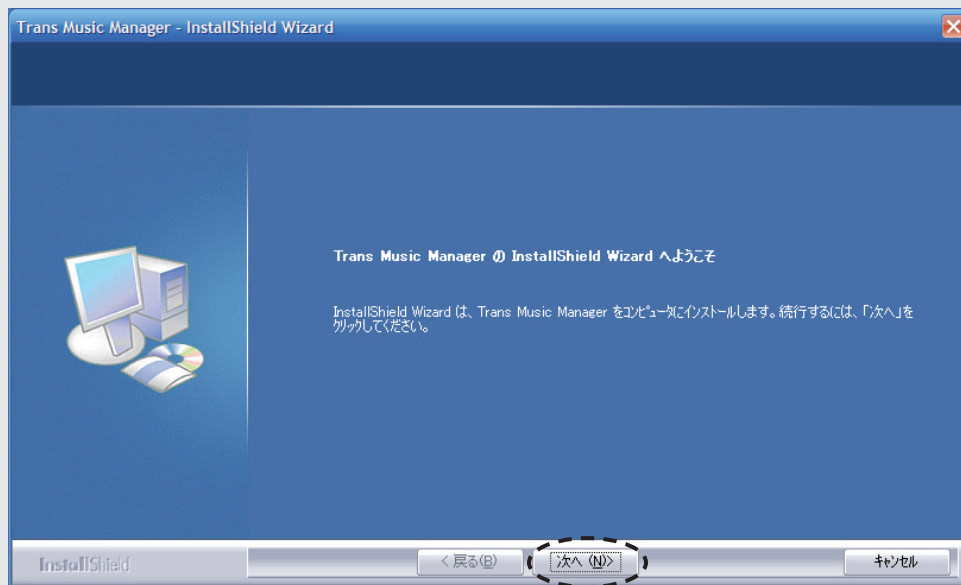
【選択できる項目】

- | | |
|------------------------------------|--|
| Trans Music Manager のインストール | : “Trans Music Manager” をインストールします。 |
| 簡易マニュアル参照 | : “Trans Music Manager” の取扱説明書のファイルを開きます。 |
| CD を参照 | : 付属の CD-ROM (Trans Music Manager) に収録されているフォルダやアプリケーションファイルを開きます。 |

- 2** “Trans Music Manager のインストール” をクリックする。



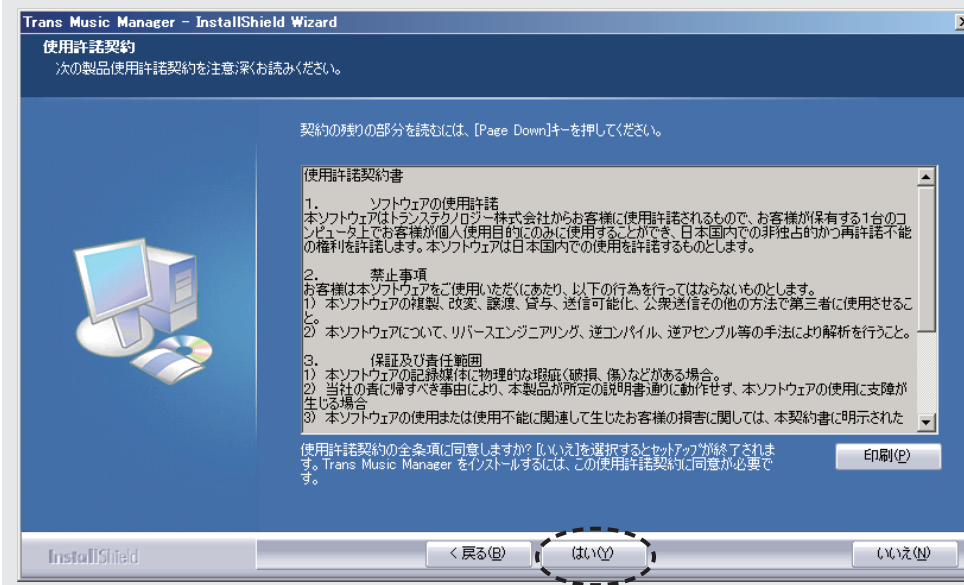
3 “次へ (N) >” をクリックする。



【選択できる項目】

次へ (N) > : 次の操作になります。

4 使用許諾契約書をよくお読みの上、“はい” をクリックする。



【選択できる項目】

はい : 同意します。

5 “ユーザ名”と“会社名”を入力し、“次へ (N) >”をクリックする。



【選択できる項目】

次へ (N) > : 次の操作になります。

※ “インストールするアプリケーションを使用できるユーザの指定” は、特に指定がない限り、“このコンピュータを使う全ユーザ” に設定してください。

6 “インストール先のフォルダ”を指定しない場合は、そのまま“次へ (N) >”をクリックする。 インストールがはじまります。



【選択できる項目】

次へ (N) > : インストールをはじめます。



インストール先を指定したい場合は、“参照 (R) ...”をクリックし、インストールするフォルダを選んでください。

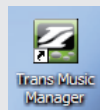
7 インストールが完了したら、“完了”をクリックする。



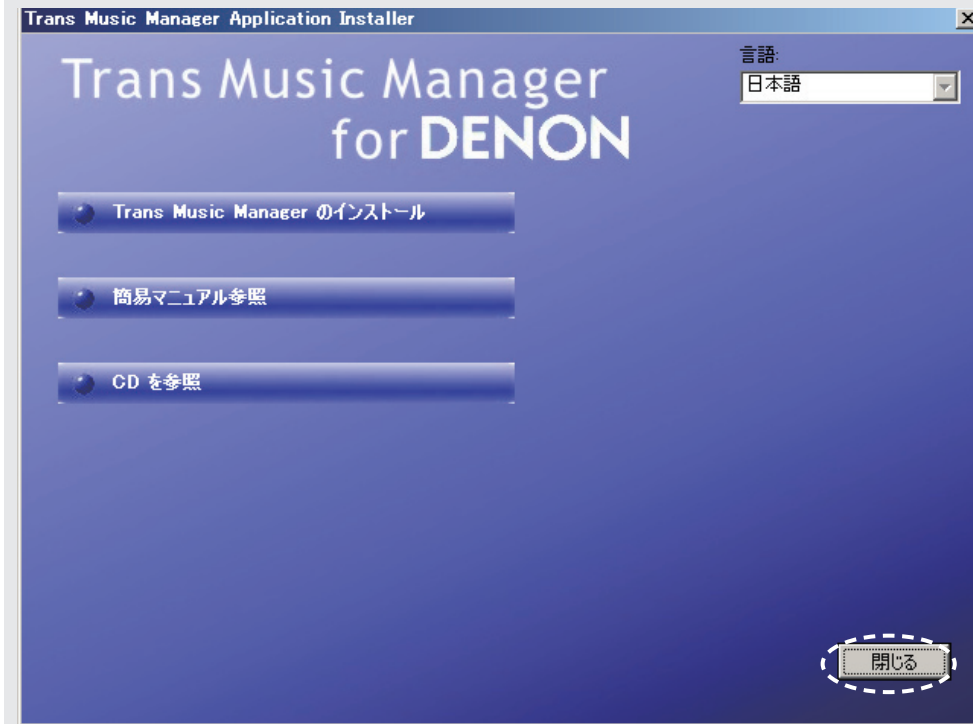
【選択できる項目】

完了 : インストールが完了します。

※ インストールが完了すると、パソコンのデスクトップに“Trans Music Manager”のアイコンが登録されます。



8 “閉じる”をクリックする。



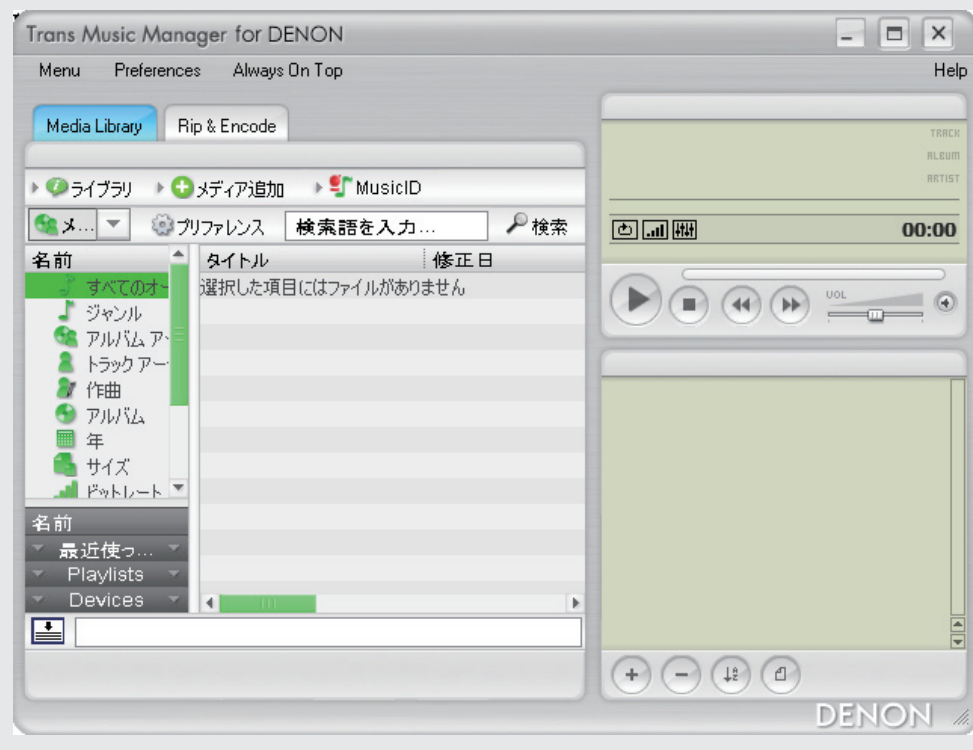
ご注意

- USB メモリーを接続しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。大切なデータは、バックアップを取ってからご使用ください。
- 再インストールする場合は、Trans Music Manager をアンインストールしてからおこなってください。

Trans Music Manager の使いかた

Trans Music Manager を使用する前に

- 1 MP3 ファイルが録音されている USB メモリーをパソコンに接続する。
- 2 パソコンの“Trans Music Manager”アイコンをダブルクリックして、Trans Music Manager を立ち上げる。



著作権保護されている WMA ファイルは再生できません。

USB メモリーについて

- フラッシュメモリータイプの USB メモリーをお使いください。USB メモリー以外の USB 接続機器は、接続しないでください。
- 本機に USB メモリーを接続しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。大切なデータは、バックアップを取ってからご使用ください。
- USB メモリーは、USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーは、USB 端子に奥までまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと故障の原因となることがあります。
- 著作権で保護された USB メモリーは使用できません。
- 外付けハードディスクには録音できません。
- USB ケーブル（延長ケーブルを含む）を中継すると録音できません。

対応 OS・パソコンについて

- 次の OS に対応しています。
 - ・ Windows 2000
 - ・ Windows XP
 - ・ Windows Vista（パソコンによっては、表示画面が一部異なる場合があります。）
- 本機をパソコンに接続して、本機からパソコンにデータを出力することはできません。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイパーネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。
- ご使用中にソフトウェアが応答なしになった場合は、一度電源を切ってやり直してください。

Trans Music Manager for DENON をアップデートするには

下記のホームページから“Trans Music Manager for DENON”の最新バージョン（アップデート版）をダウンロードしてください。

<http://www.transtechology.co.jp/products/soft/tmm/for-DENON.html>

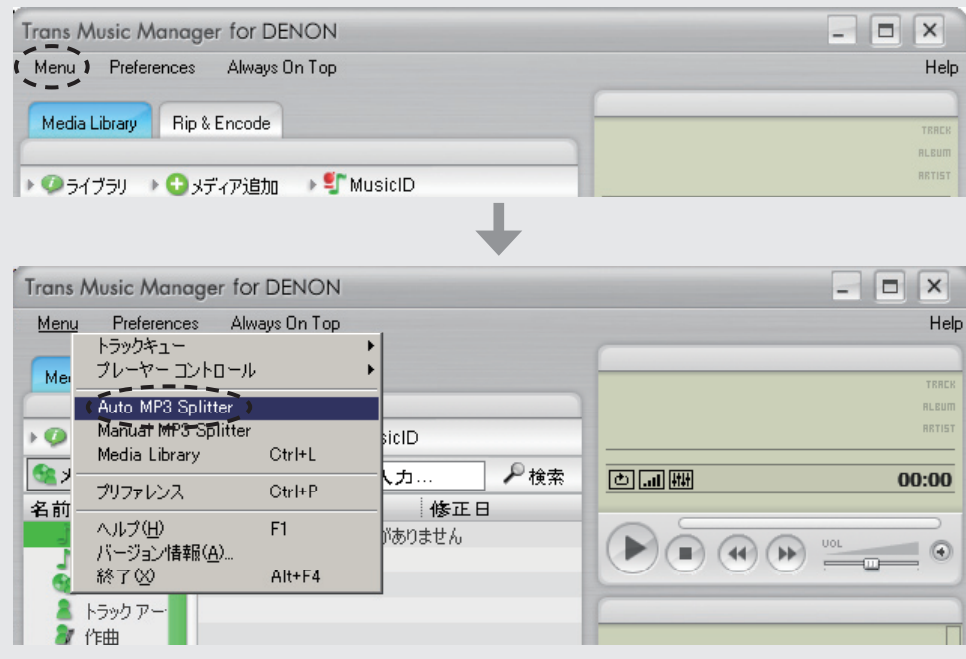
その後、ダウンロードした“Updater.exe”ファイルを実行（ダブルクリック）してください。

一括分割する (Auto MP3 Splitter)

アナログレコードから録音した音楽ファイルは、レコードのA面またはB面全体で1つのファイルになっています。もちろんこのまま音楽を楽しむこともできますが、1曲ごとに分割した方が便利です。そこで、Trans Music Manager の一括分割機能*を使用します。

*：通常のアナログレコードは、曲と曲の間に約2～3秒ほどの無音部分が存在します。一括分割機能は、これを検出してファイルを分割する機能です。

1 “Menu” から “Auto MP3 Splitter” を選ぶ。

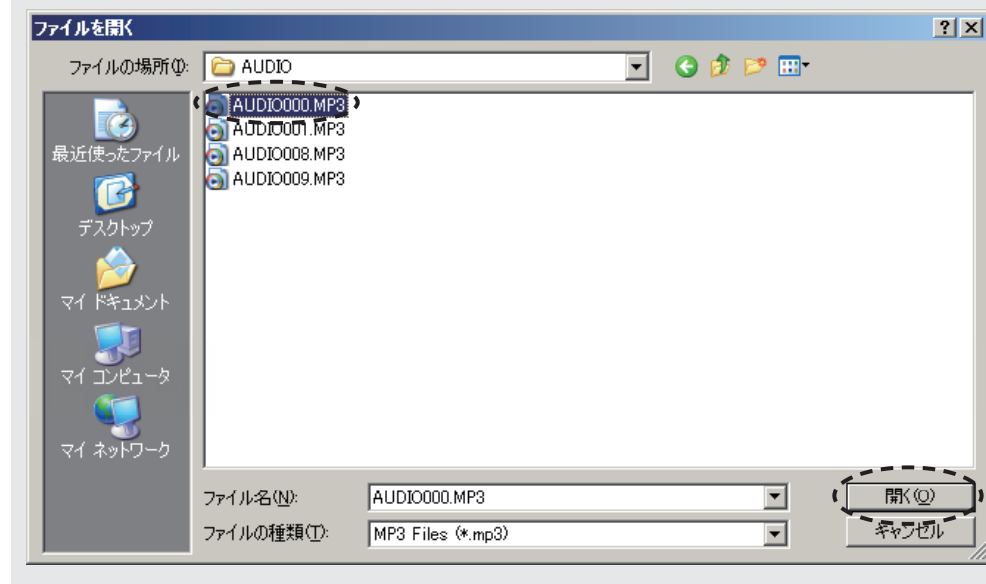


2 “...” をクリックする。



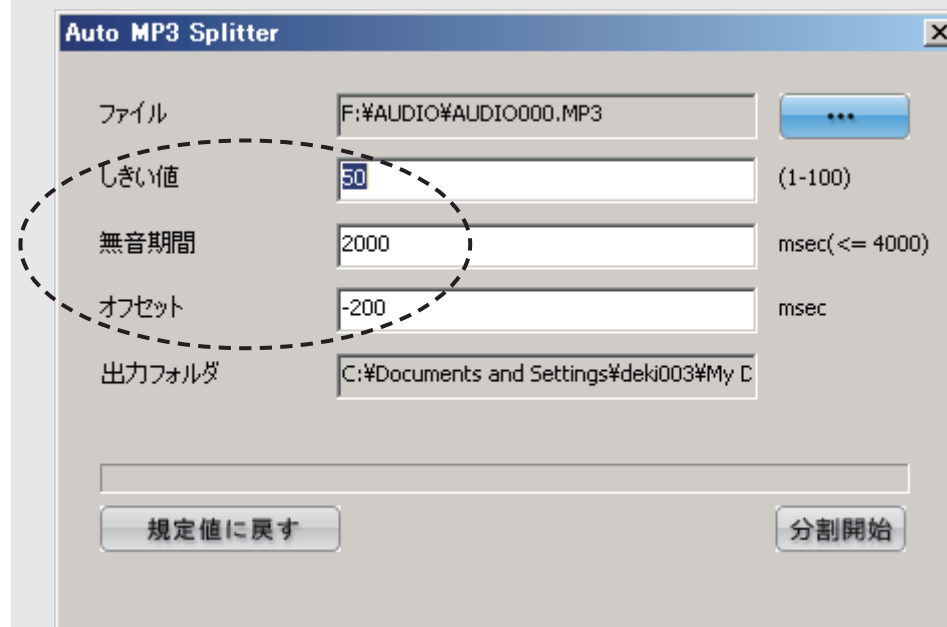
※ パソコンに“マイミュージック”のフォルダがない場合、“出力フォルダ”は表示されません。このような場合は、パソコンに“マイミュージック”のフォルダを作成してください。

3 “ファイルを開く” ダイアログで分割したいファイルを選び、“開く”をクリックする。



4 必要に応じて、“しきい値”、“無音期間”、“オフセット”を設定する。

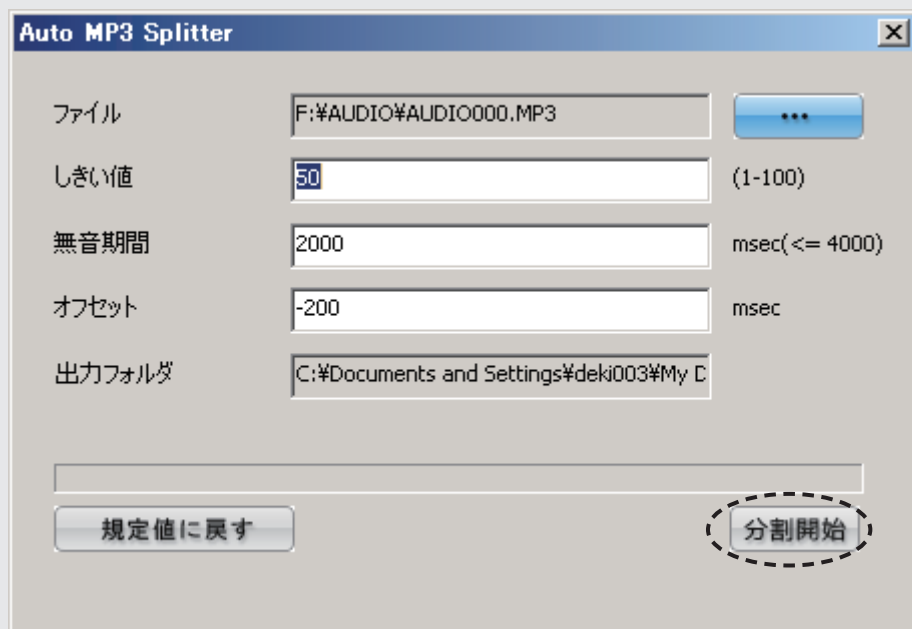
※ 初期値が設定されています。



【設定できる項目】

- しきい値** : 無音と判断する音量レベルを設定します。
(設定範囲：1 ～ 100、初期値：50)
ノイズが少ないファイルの場合には、設定値を下げて（0 に近づけて）ください。またノイズが多いファイルの場合には、設定値を上げてください。
- 無音期間** : 無音部分の継続時間を設定します。
(設定範囲：0 ～ 4000msec、初期値：2000msec)
単位は、msec（1000 分の 1 秒）です。
【例】 2 秒に設定したい場合は、2000msec に設定してください。
- オフセット** : 次の曲の頭から約何 msec 前で分割するかを設定します。
(初期値：-200msec)
設定値は、負の数になります。
単位は、msec（1000 分の 1 秒）です。
【例】 約 0.2 秒前に設定したい場合は、-200msec に設定してください。

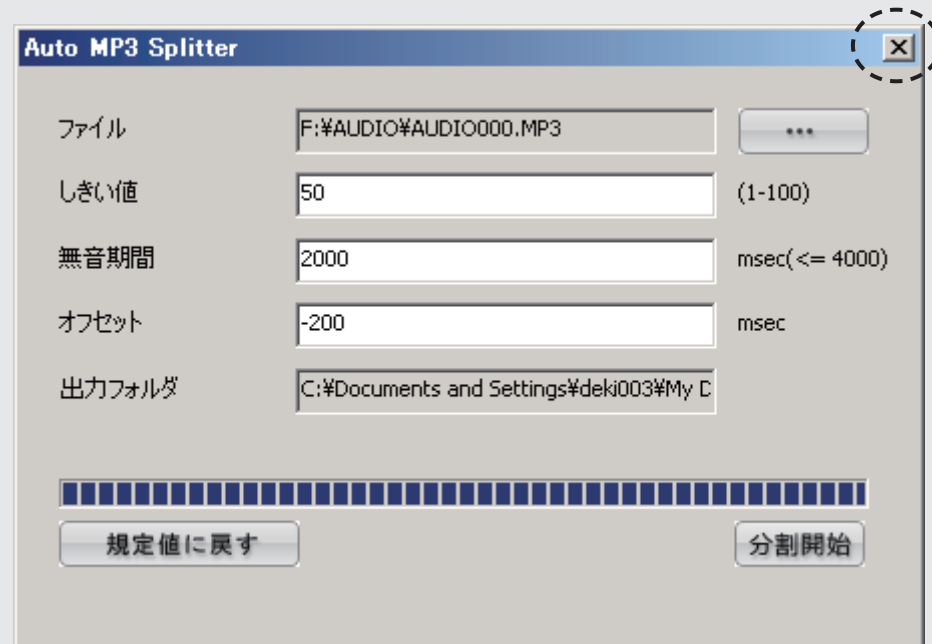
- 5 設定が完了したら、“分割開始”をクリックする。
分割をはじめます。



- 6 分割が終わると“分割完了”が表示されますので、“OK”をクリックする。



- 7 “x”をクリックして、終了する。



- 8 “Media Library”の“すべてのオーディオ”をクリックする。
分割したファイルが表示されます。





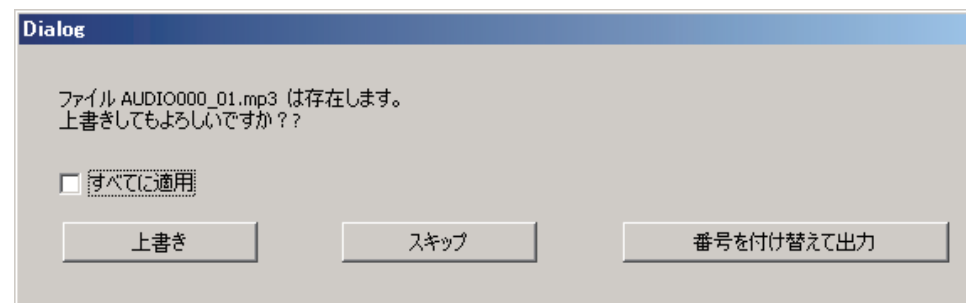
- 分割する時間は、曲の長さや分割する数に依存します。曲の長さが長いほど、または分割する数が多いほど分割にかかる時間は長くなります。
- 一括で分割したときに、分割された曲数が少ない場合や多い場合は、正しく分割されていません。操作4で“しきい値”を変えてもう一度一括分割をおこなうか、手動で分割をおこなってください（ 11ページ「手動分割する」）。
- 分割したファイルが表示されないときは、“Menu” - “トラックキュー” - “ファイル/URLを追加”で“マイドキュメント¥マイミュージック¥DENON¥AUDIOxxx”からファイルを選び、“すべてのオーディオ”をクリックしてください。

ご注意

最後の曲が10秒より短い場合は一括分割ができません。このような場合は、手動で分割してください（ 11ページ「手動分割する」）。

分割されたファイルについて

- 本機を使用して USB メモリーに録音された曲のファイル名は、“AUDIO000.mp3”、“AUDIO001.mp3”、…と順に付けられます。これらのファイルを Trans Music Manager の一括分割や手動分割機能で分割すると、新たなフォルダが作成され、分割されたファイルも新たなファイル名となり、“マイドキュメント¥マイミュージック¥DENON ¥<新たなフォルダ>”に記録されます。例えば、“AUDIO000.mp3” ファイルを分割すると、分割されたファイルのファイル名は、“AUDIO000_01.mp3”、“AUDIO000_02.mp3”、…順に付けられ、新たなフォルダ“AUDIO000”に記録されます。
- 出力先に同じファイル名が存在する場合には、以下のメッセージが表示されます。



【選択できる項目】

上書き : 既に存在するファイルに、分割したファイルを上書きします。

スキップ : 分割したファイルを記録しません。

番号を付け替えて出力 : 分割したファイル名の番号を付け替えて出力します。

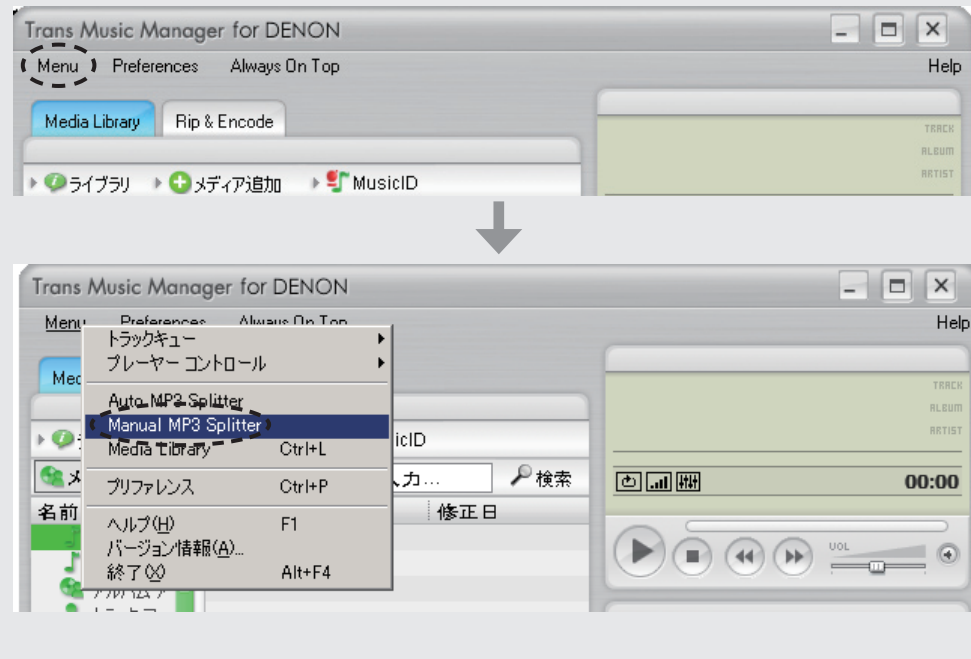


出力先に同じファイル名が存在する場合は、ファイルを分割する前に、出力先のファイル名を変更するか、削除することをおすすめします。ファイル名の変更のしかたは「ファイル名を変更する」（ 23ページ）、曲の削除のしかたは「曲を削除する」（ 28ページ）をご覧ください。

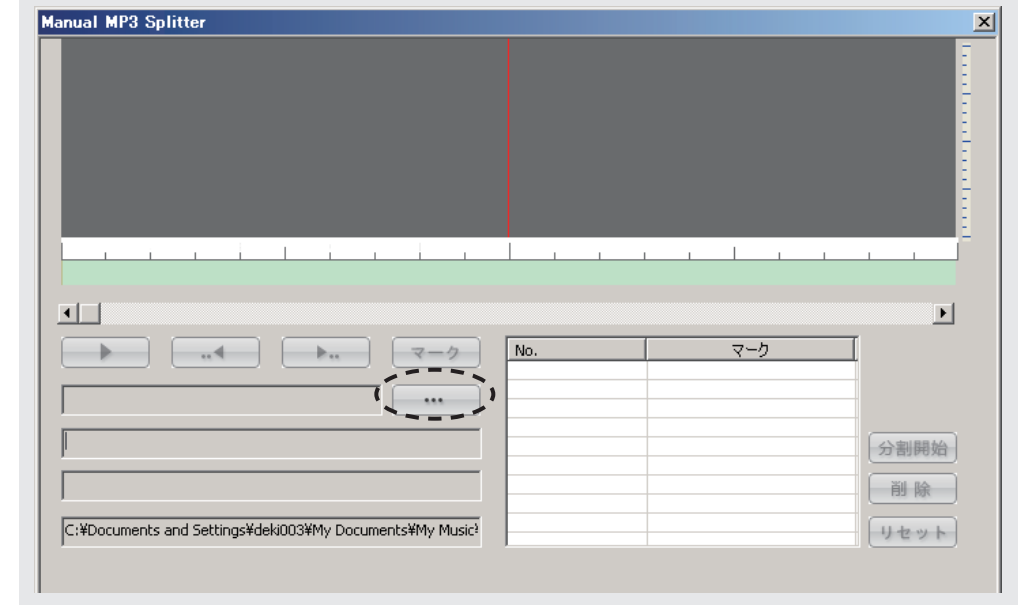
手動分割する (Manual MP3 Splitter)

ノイズが多い場合、メドレーのように複数の曲が連続している場合や曲間が短い場合など、一括分割できない場合があります。このような場合に、再生音を聞きながら手動分割します。

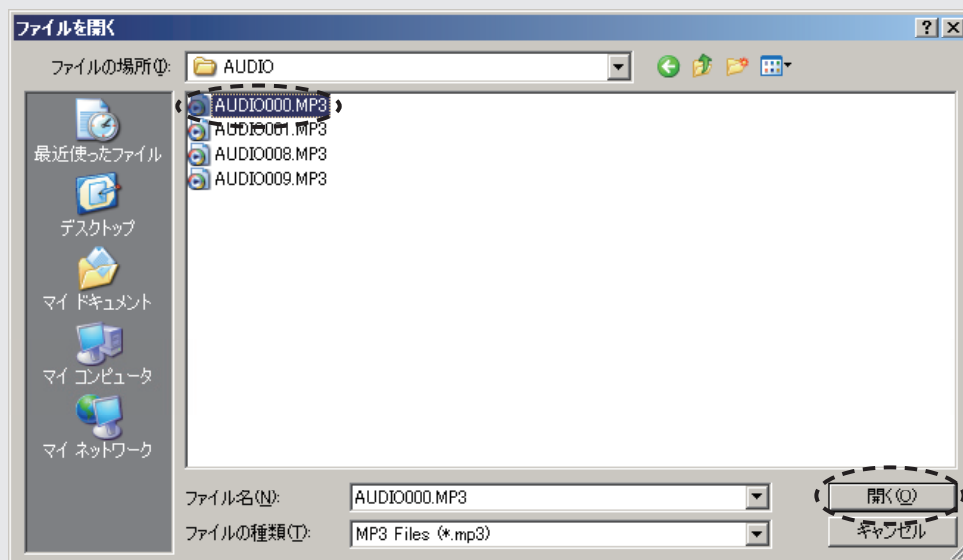
1 “Menu” から “Manual MP3 Splitter” を選ぶ。



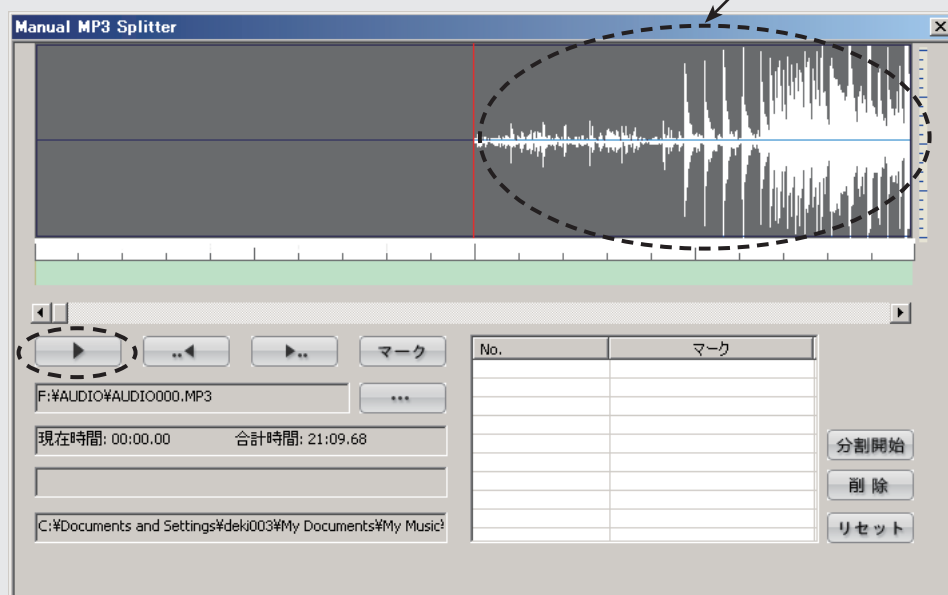
2 “...” をクリックする。



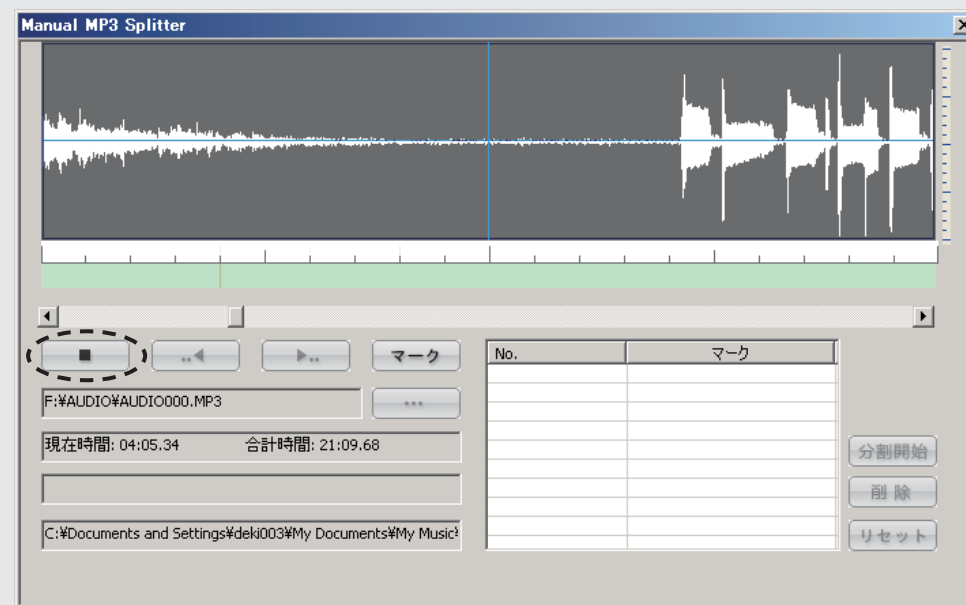
3 “ファイルを開く” ダイアログで分割したいファイルを選び、“開く”をクリックする。



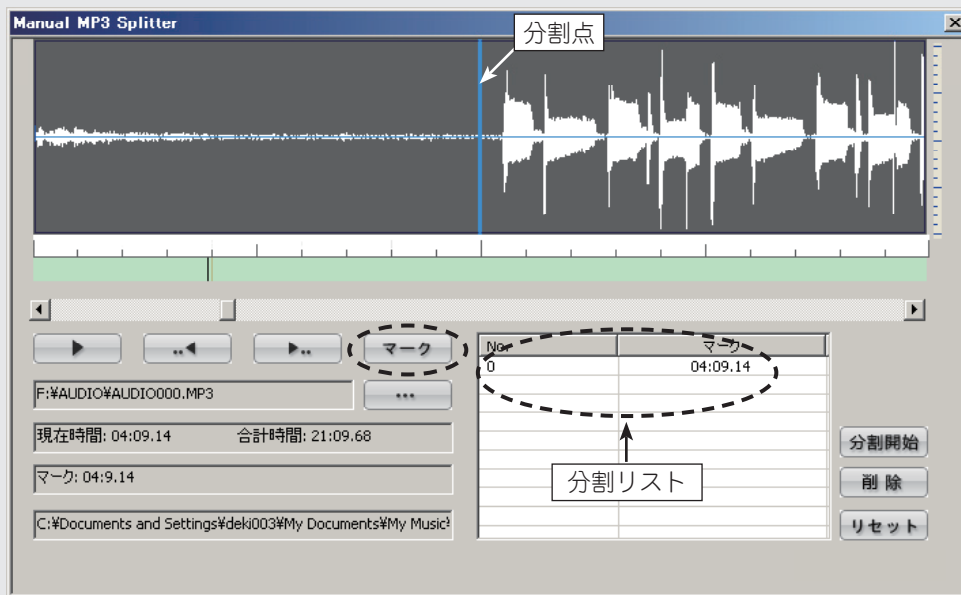
4 波形図が表示されたら、“▶”をクリックする。
再生をはじめます。



5 分割したい位置で、“■”をクリックする。
再生が一時停止します。



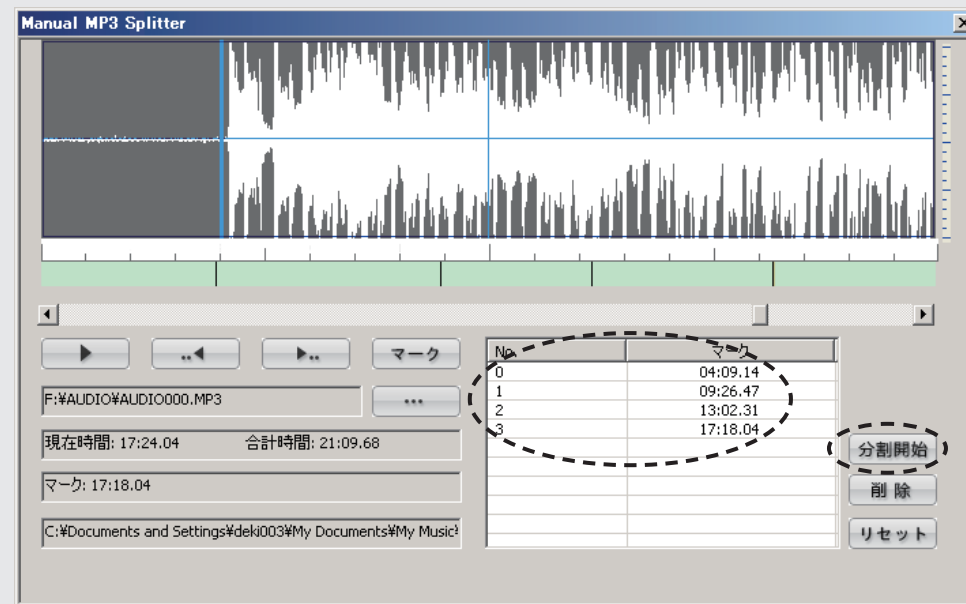
6 “マーク”をクリックして、分割点を挿入する。 分割リストに分割点が表示されます。



- ※ 音楽を再生せずにスライダーを動かして、曲の切り替わり部分を探すこともできます。
- ※ 分割点を調節するときに “.. ◀” をクリックすると、停止点の約 2 秒前を再生します。また “▶ ..” をクリックすると、停止点の約 2 秒後を再生します。

7 操作 4 ～ 6 を繰り返して、すべての分割点を設定する。

8 分割点の設定が完了したら、“分割開始”をクリックする。 分割をはじめます。



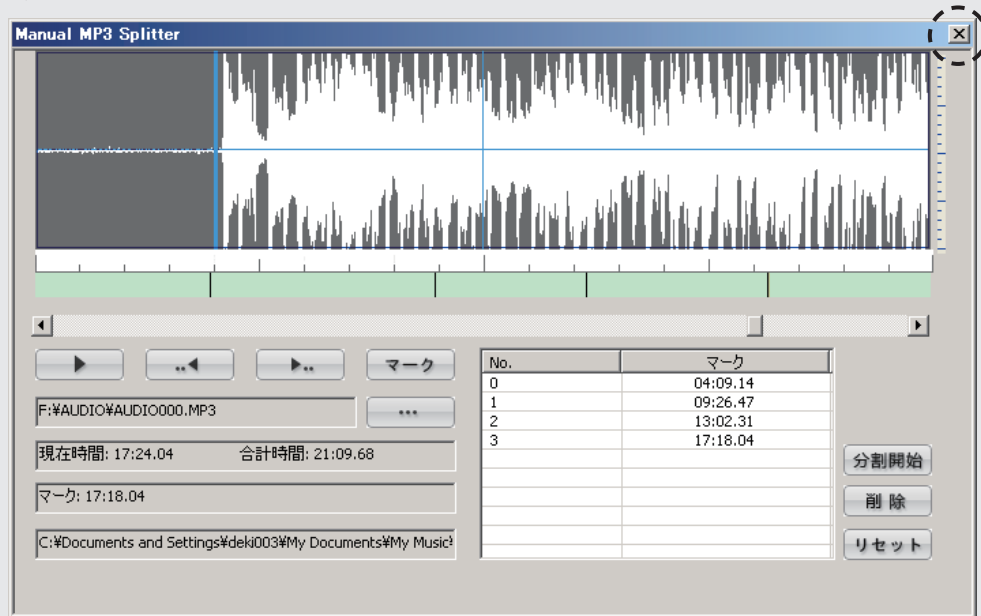
【操作できる項目】

- 分割開始** : 分割を開始します。
- 削除** : 設定した分割点の中から選んだ分割点を削除します。
- リセット** : 分割リストをすべてクリアにします。

9 分割が終わると“分割完了！”が表示されますので、“OK”をクリックする。

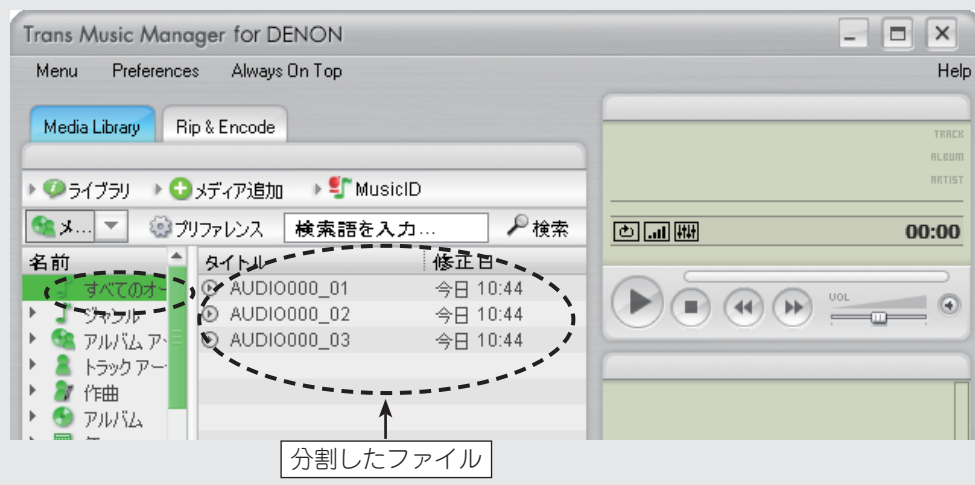


10 “×” をクリックして、終了する。



- 分割する時間は、曲の長さや分割する数に依存します。曲の長さが長いほど、または分割する数が多いほど分割にかかる時間は長くなります。
- 60分以上のファイルは、手動で分割することができません。

11 “Media Library” の “すべてのオーディオ” をクリックする。 分割したファイルが表示されます。



MusicID 機能を使う

Gracenote musicIDSM music recognition serviceについて

「Gracenote musicIDSM music recognition service（音楽認識サービス）」とは、一般的に CDDDB[®] として知られる Gracenote[®] が提供するサービス名です。インターネットを通じて Gracenote[®] サーバーにアクセスし、CD のタイトル、アーティスト名、曲名などの文字情報を自動的に取得することができます。

※ Trans Music Manager は、トランステクノロジー（株）の商標と登録商標です。
音楽認識技術と関連情報は、Gracenote 社によって提供されています。
Gracenote[®] および CDDDB[®] は、Gracenote 社の登録商標です。

MusicID 機能を使う前に

MusicID 機能を使用するには、インターネットへの接続が必要です。

1 LAN ケーブルを接続する。

2 無線 LAN で接続する場合は、電波の強さを確認する。

※ MusicID 機能が動作しても、電波が弱い場合や MusicID の検索に約 3 ～ 5 分かかる場合は、電波の強い条件でもう一度やり直してください。

3 契約している ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）によってプロキシサーバの設定が必要な場合は、以下の操作をおこなう。

- ① “Preferences” をクリックする。
- ② “設定” - “システム” - “ネットワーク” - “プロキシ設定” で、“プロキシサーバを通じてインターネットに接続する” にチェックマークを付ける。
- ③ “ポート 80（HTTP）の接続にのみプロキシを使用する” にチェックマークを付け、プロキシ ホスト名とプロキシ ポートを入力する。
- ④ “保存して閉じる” をクリックする。

4 インターネットに接続する。

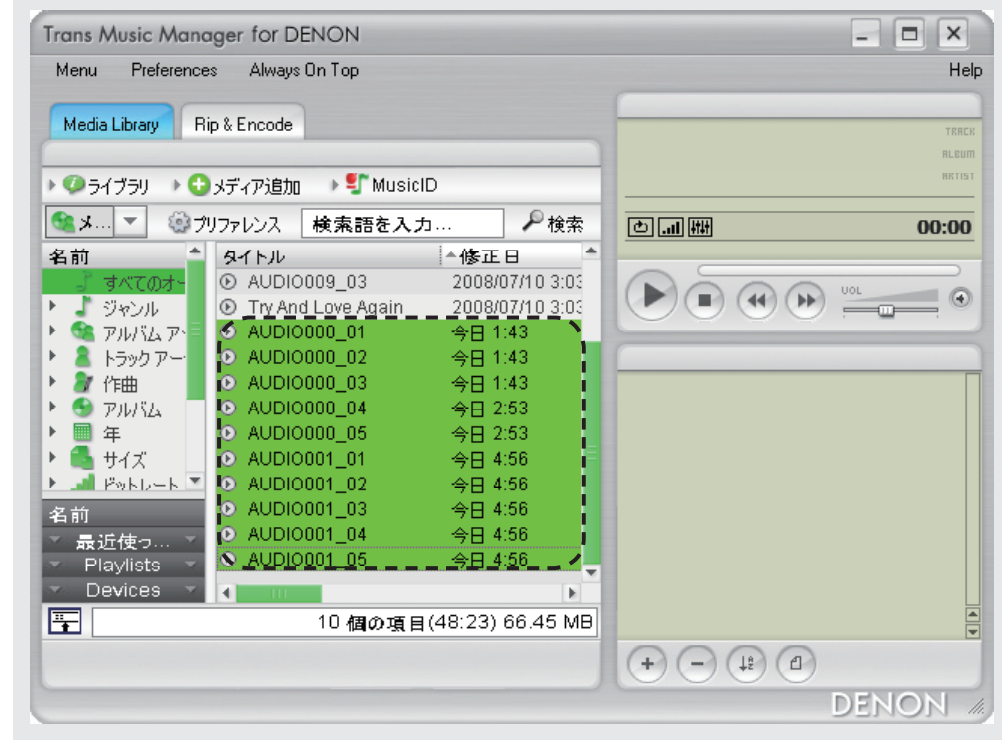
- ① “Preferences” をクリックする。
- ② “設定” - “システム” - “ネットワーク” - “インターネット接続” でインターネットへの接続方式を選ぶ。
- ③ “保存して閉じる” をクリックする。

MusicID 機能を使ってファイルに楽曲情報を付ける

MusicID を動作させる方法には、アルバムとして認識させる方法と、曲を個々に認識させる方法があります。

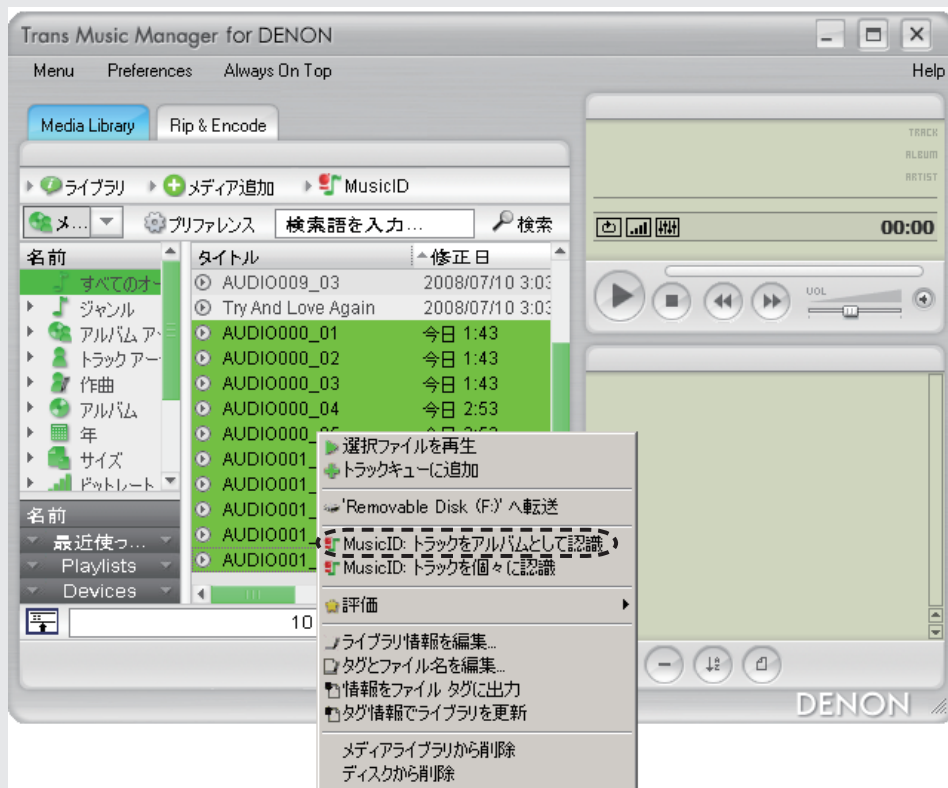
アルバムとして認識させる

1 “Media Library” 上で、MusicID の処理をしたいファイルを（複数）選ぶ。



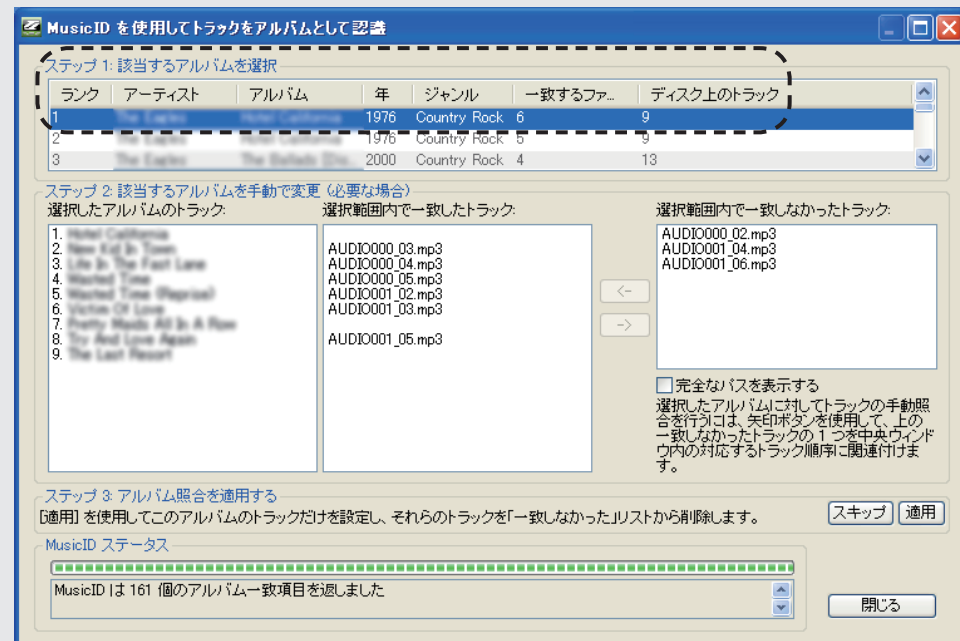
2 選んだファイル上でマウスを右クリックし、“MusicID: トラックをアルバムとして認識”を選ぶ。

MusicID 機能が動作し、データの取得をはじめます。

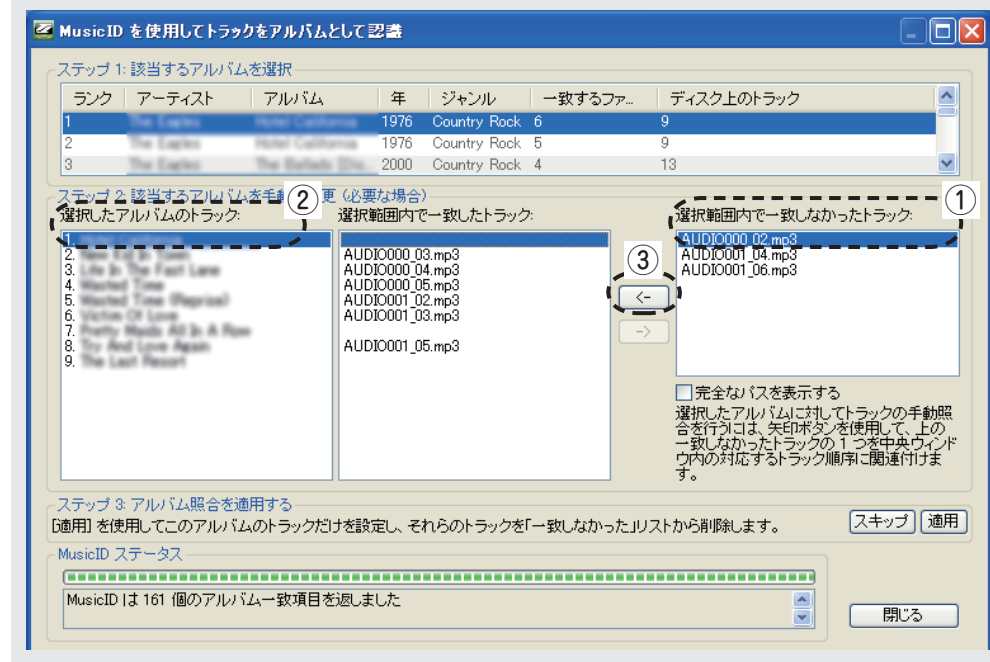


※ “Media Library” 上の “MusicID” でも、“MusicID: トラックをアルバムとして認識” を選ぶことができます。

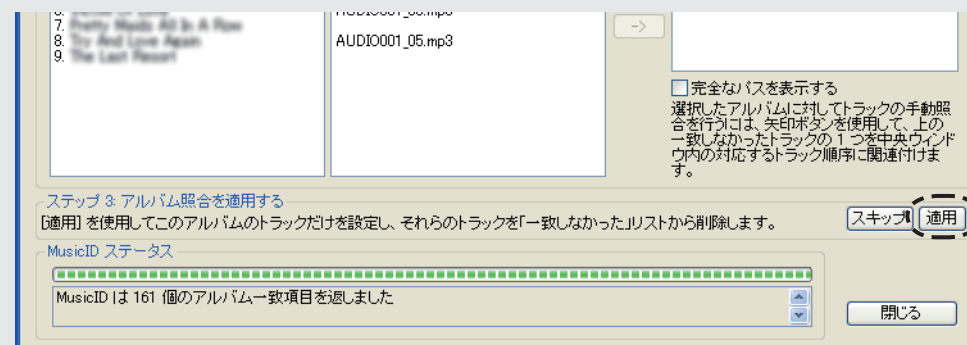
3 “ステップ 1: 該当するアルバムを選択”の中から該当するアルバムを選ぶ。



- 4 自動的に認識できなかった曲を、手動で置き換える。
- ① “選択範囲内で一致しなかったトラック” から、1 曲を選ぶ。
 - ② “選択したアルバムのトラック” の中で該当する曲を選ぶ。
 - ③ “←” をクリックして、“選択範囲内で一致したトラック” の空欄を埋める。
 - ④ 全曲に対して、①～③を繰り返しおこなう。



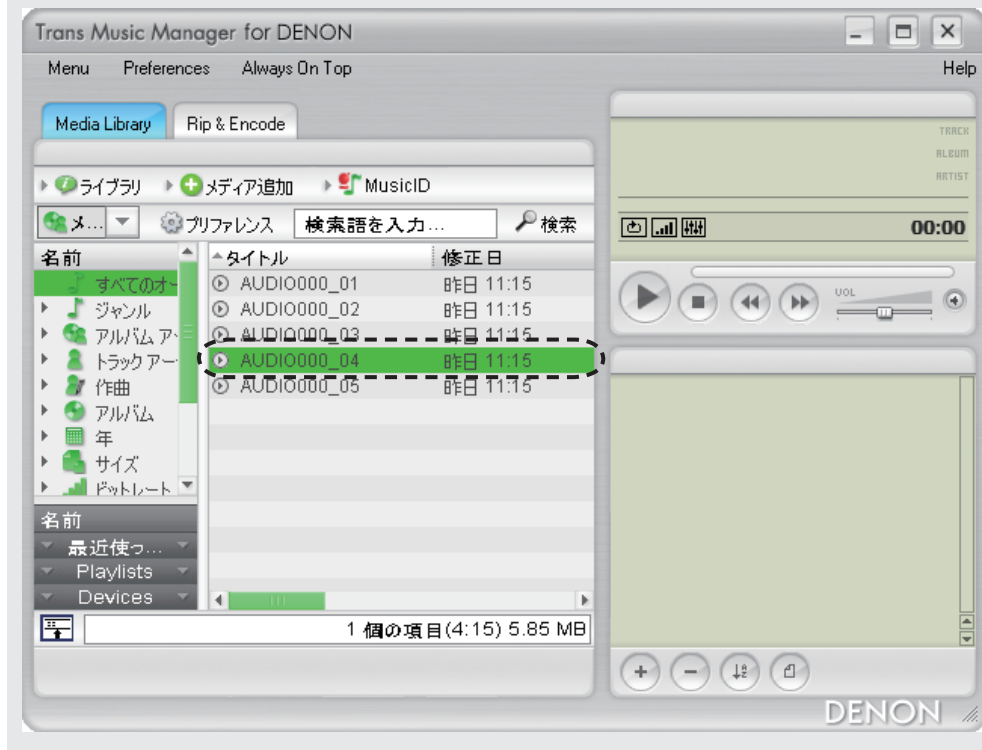
- 5 “適用” をクリックして、結果を確定する。
MusicID の結果が、“Media Library” に表示されます。



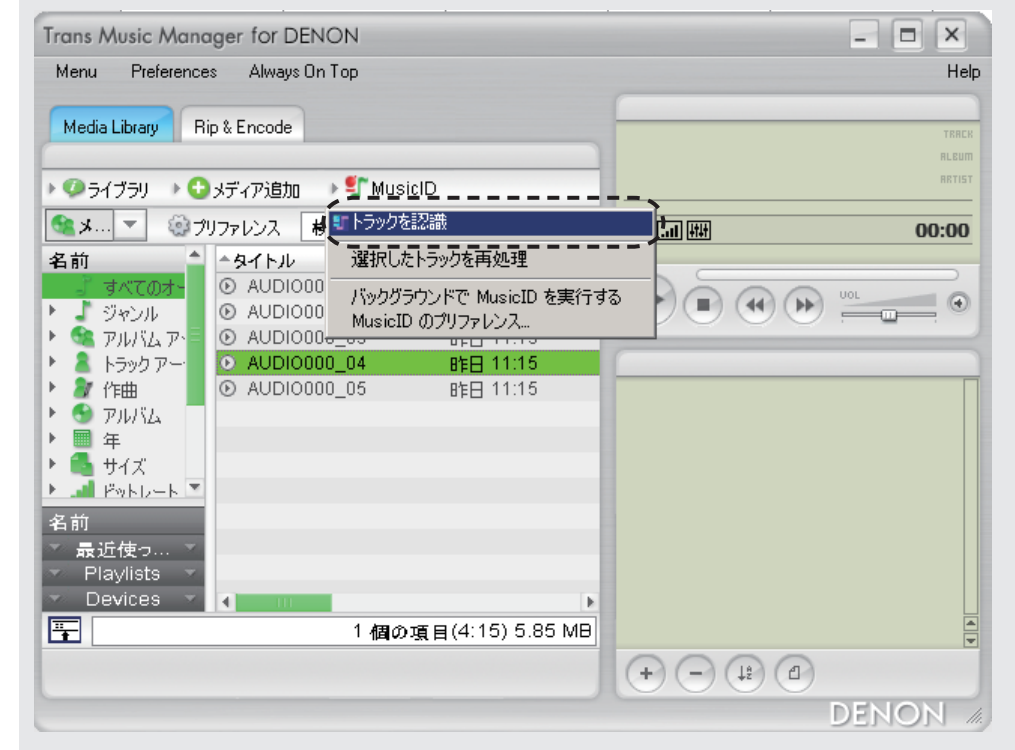
ファイルを複数選んでアルバムとして認識させても曲名が付かない場合は、1曲1曲を別々に MusicID をおこなってください (18 ページ「曲を個々に認識させる」)。

曲を個々に認識させる

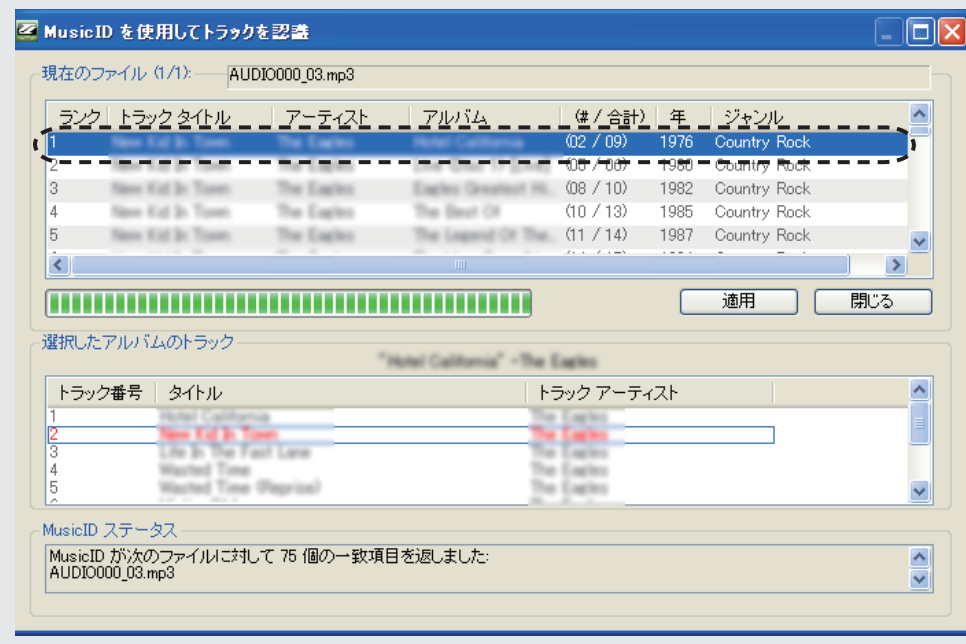
1 “Media Library” 上で、MusicID の処理をしたいファイルを 1 曲選ぶ。



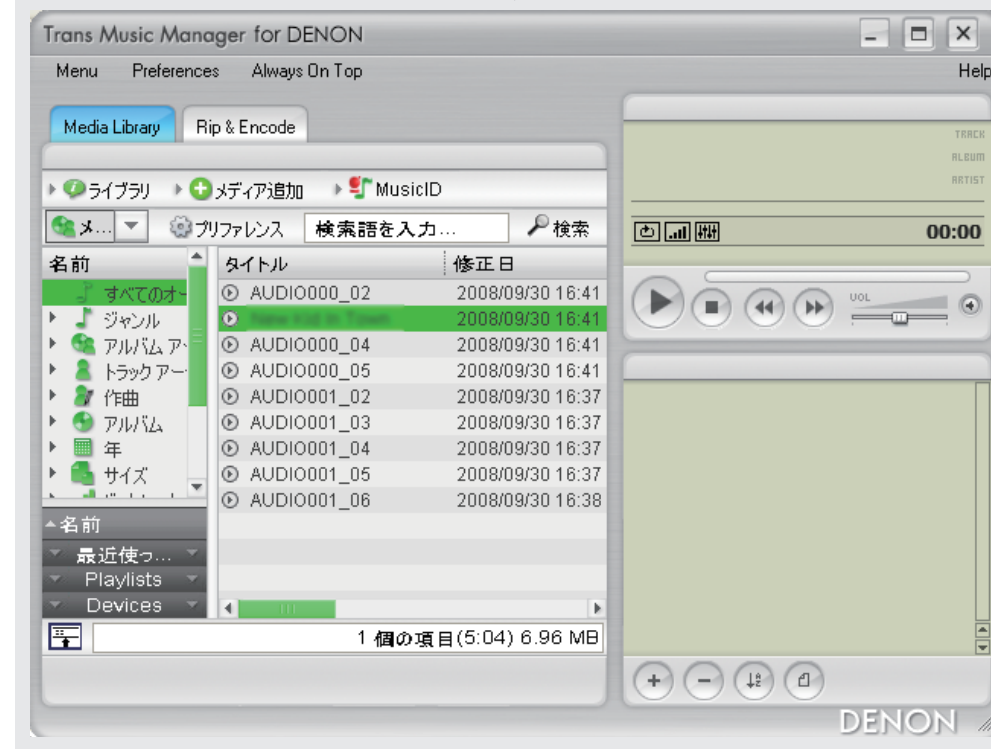
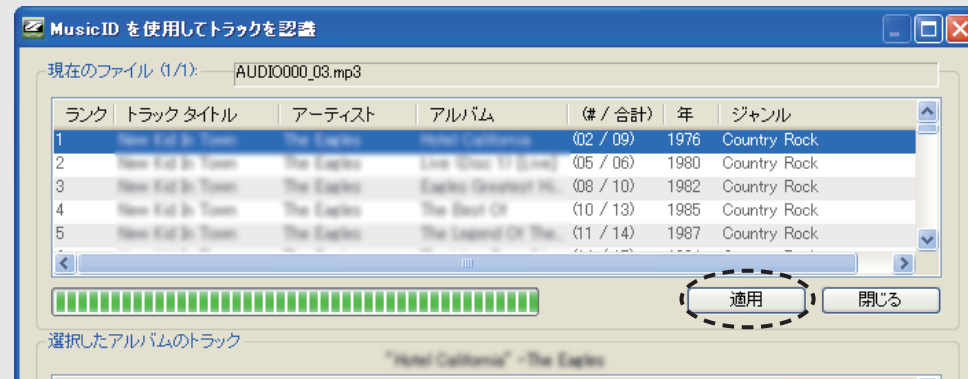
2 “MusicID” を左クリックし、“トラックを認識” を選ぶ。



3 “現在のファイル一覧” から合致した楽曲情報を選ぶ。



4 “適用” をクリックして、結果を確定する。 MusicID の結果が、“Media Library” に表示されます。





以下の場合には、MusicIDをおこなっても楽曲情報が付かない場合があります。

- ・ Gracenote社のCDのデータベースに登録されていない場合
- ・ アナログレコードの音源がCD化されていない場合
- ・ CD化されるときに、ノイズを低減したり、曲が編集されたりしている場合

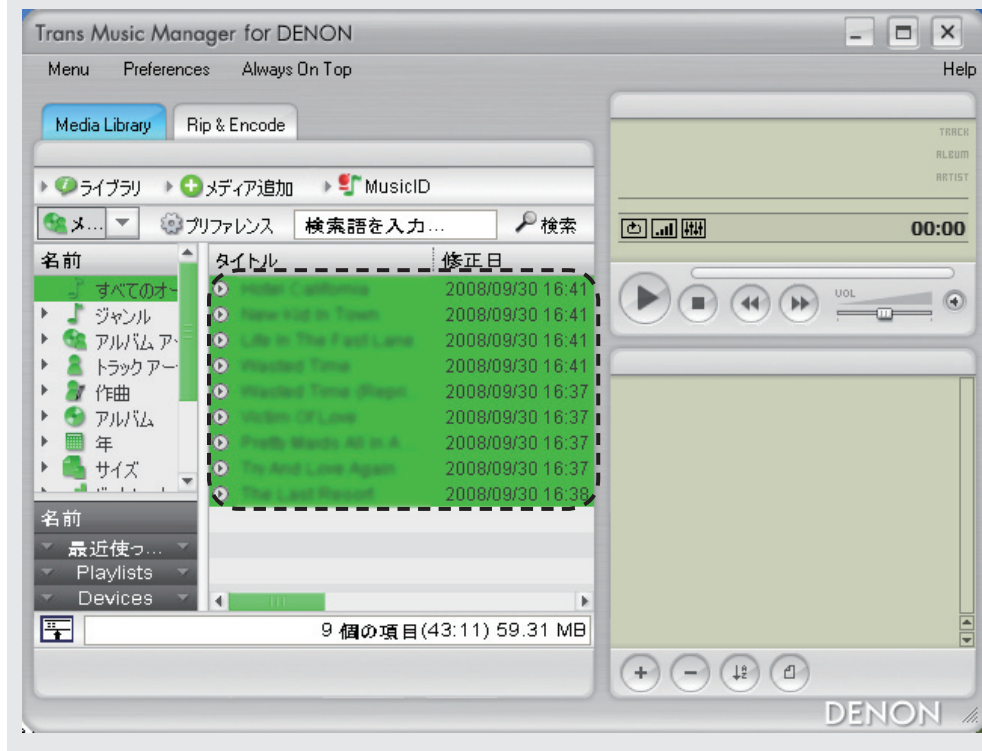
このような場合は、以下の手順で曲名を入力してください。

- ① 操作1で選んだファイル上でマウスを右クリックし、“タグとファイル名を編集...”を選ぶ。
“タグ/ファイル エディタ” が起動します。
- ② 各項目を入力する。
- ③ “タグ書き込み” を操作してから“閉じる” をクリックして、終了する。

取得した楽曲情報のファイルへの埋め込み

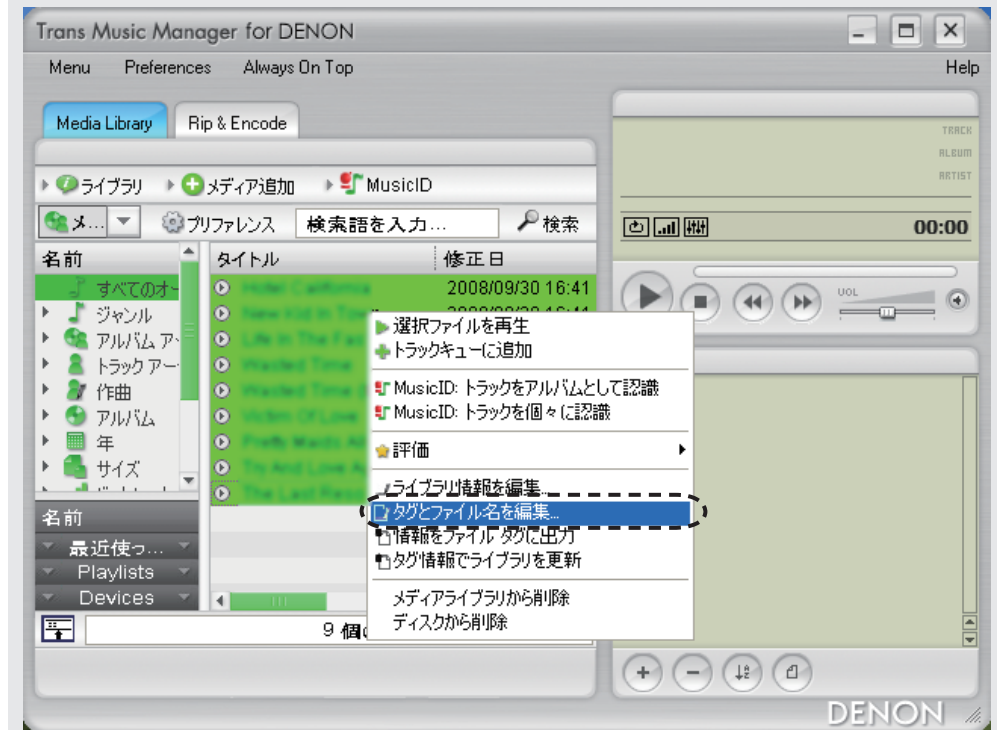
MusicID で曲名を認識させても、更新されるのは Media Library だけで、ファイルの中には記憶されません。このような場合、Trans Music Manager 以外のプレーヤーでは、ファイルの再生中に楽曲情報が表示されません。次の手順で楽曲情報をファイルに埋め込んでください。

1 “Media Library” 上で、楽曲情報を埋め込みたいファイルを選ぶ。

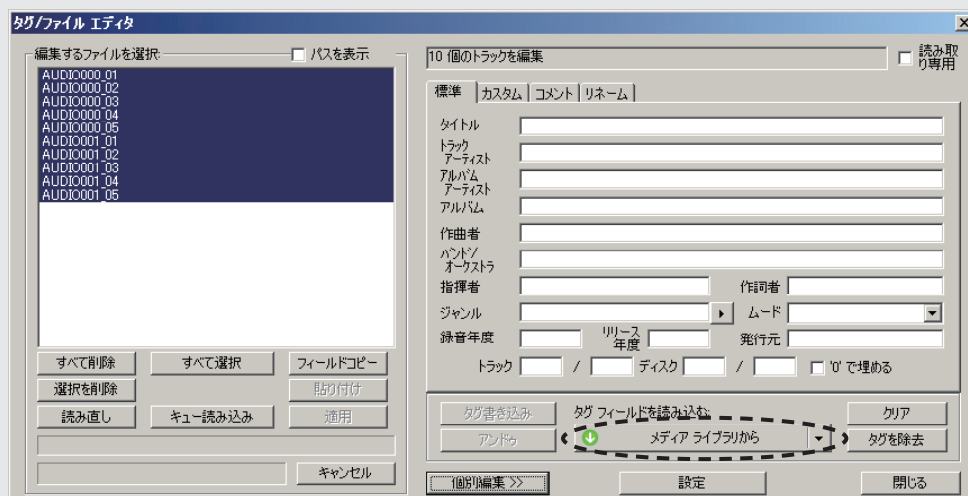


2 選んだファイル上でマウスを右クリックし、“タグとファイル名を編集...”を選ぶ。

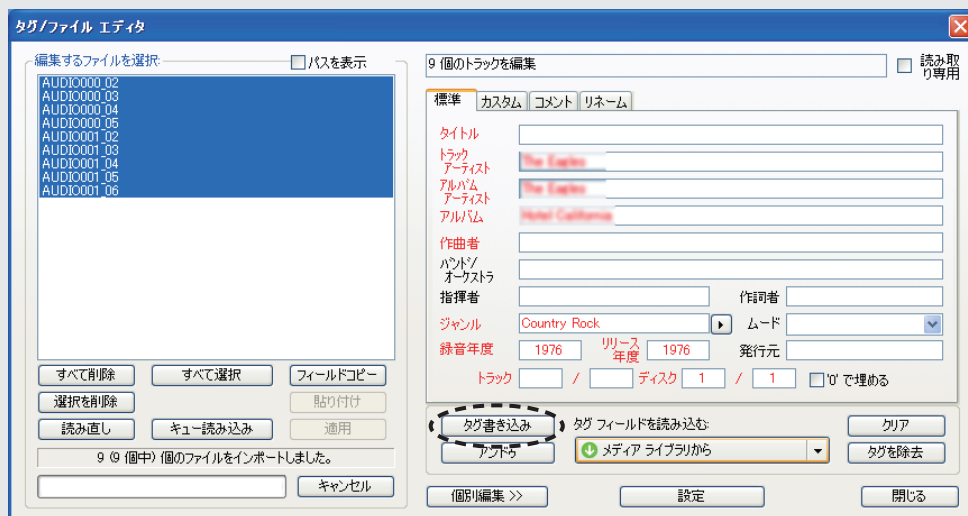
“タグ / ファイル エディタ” が起動します。



3 “メディアライブラリから”をクリックする。



4 “タグ書き込み”をクリックする。 Media Library の楽曲情報が表示されます。



※ 変更された部分は、赤字で表示されます。必要に応じてタグを編集することもできます。

※ この操作は、“Media Library” 上でおこなうことができます。

- ① 選んだファイル上でマウスを右クリックする。
- ② “情報をファイル タグに出力”を選ぶ。

ファイル名を変更する

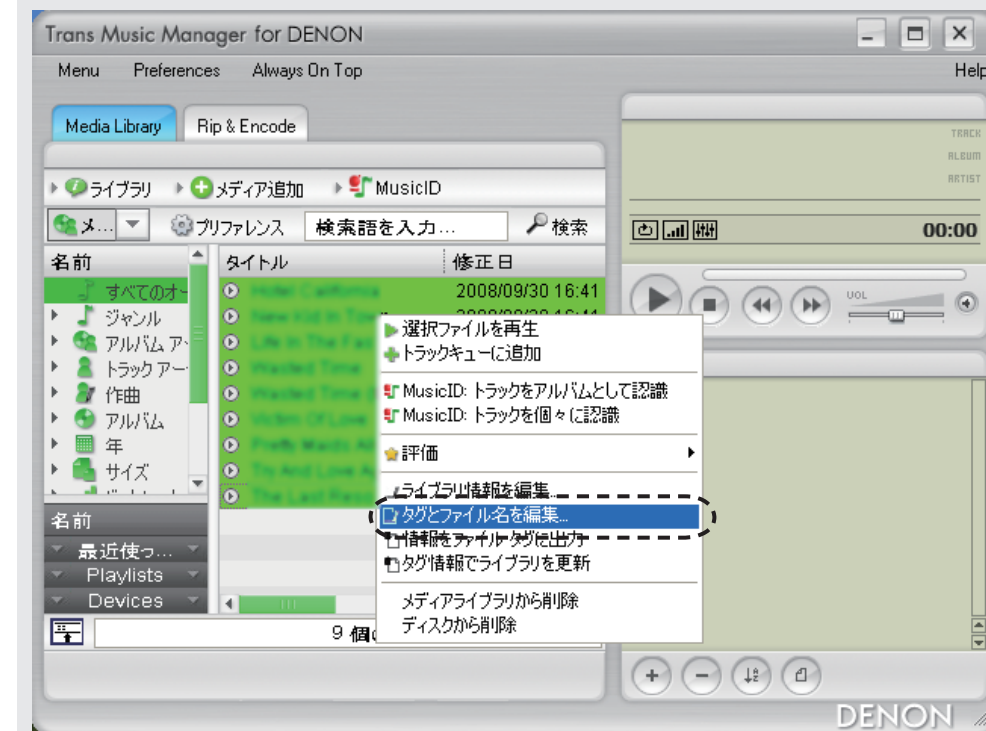
楽曲情報（タグ情報）を埋め込んだので、他の音楽プレーヤーで再生するときにもファイル情報が表示されるようになりました。しかし、ファイル名が AUDIO003_01.mp3 などのままではファイルを探しにくいので、分かりやすいファイル名に書き換えましょう。

- 1 “Media Library” 上で、楽曲情報（タグ情報）を埋め込んだファイルの中からファイル名を変更したいファイルを選ぶ。

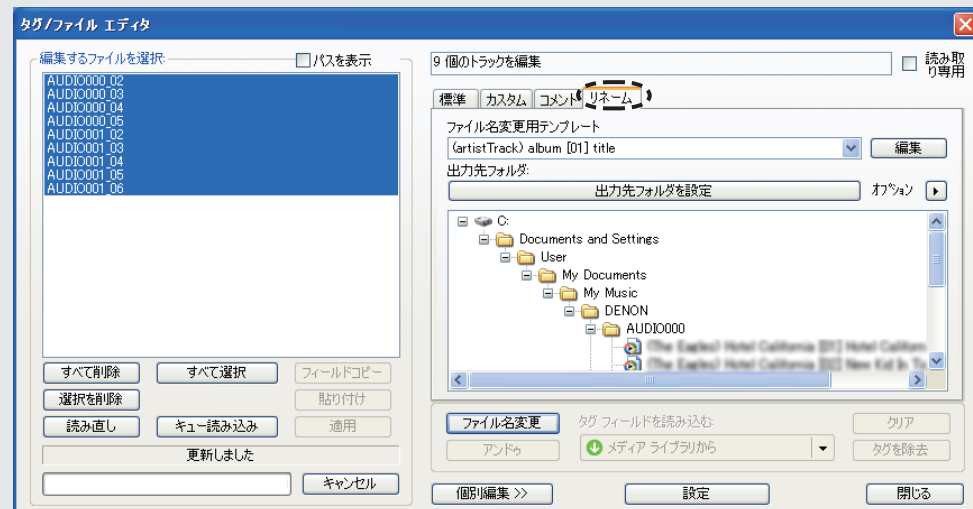


- 2 選んだファイル上でマウスを右クリックし、“タグとファイル名を編集...”を選ぶ。

“タグ / ファイル エディタ” が起動します。

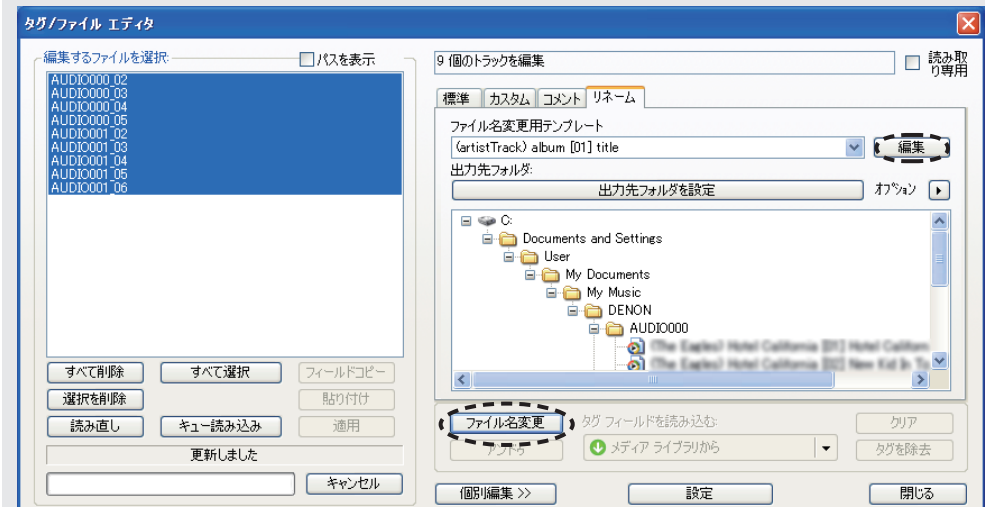


3 “リネーム” クリックする。

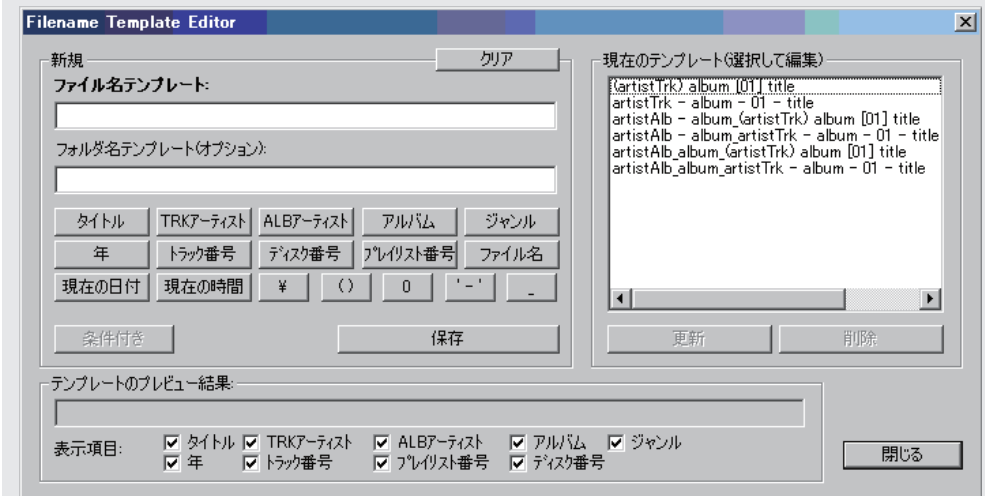


4 “ファイル名変更用テンプレート”の中から、お好みのファイル名テンプレートを選ぶ。

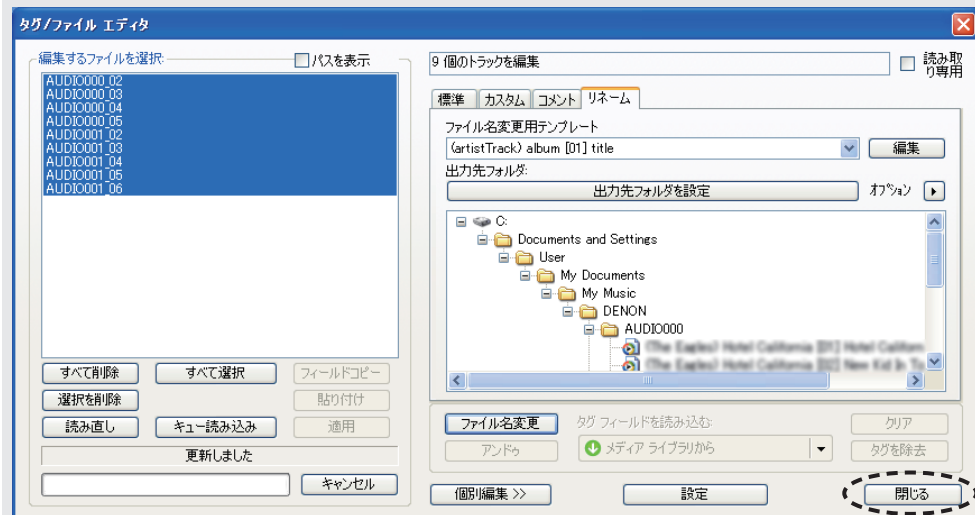
5 “ファイル名変更”をクリックする。 ファイル名が変更されます。



※ 既存のテンプレートと異なる形式のファイル名にしたい場合は、“編集”をクリックしてください。“Filename template Editor”が表示され、お好みのファイル名に変更できます。



6 “リネーム” を閉じる。



USB メモリーに曲を保存する

ファイル名を変更したら、曲を USB メモリーに保存しましょう。

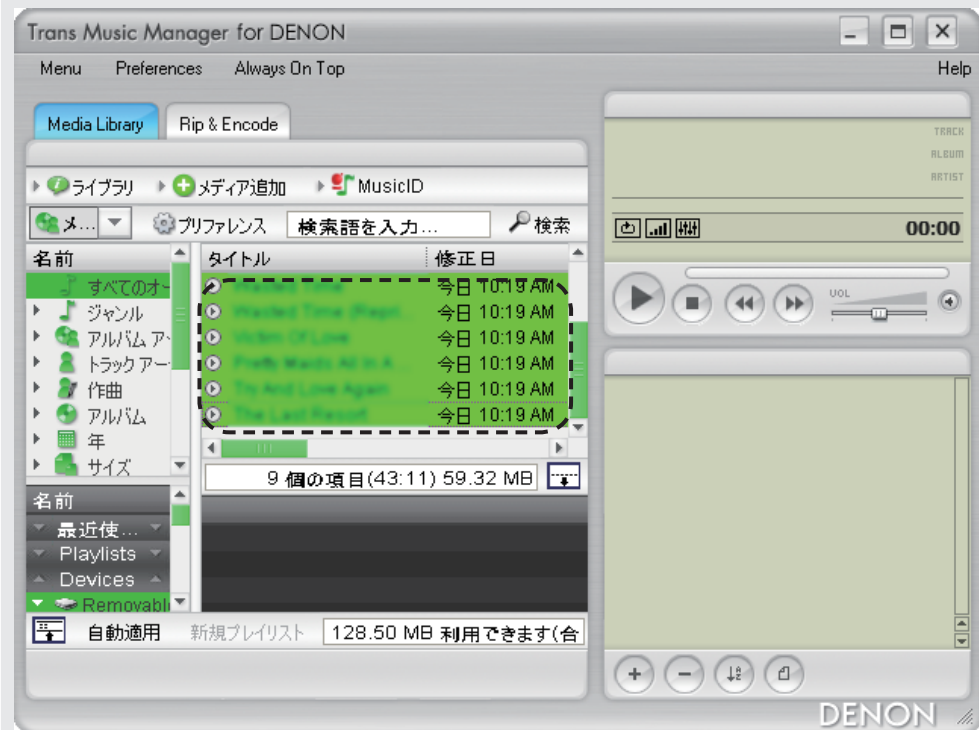
1 “Media Library” 上で、“Devices” をクリックする。



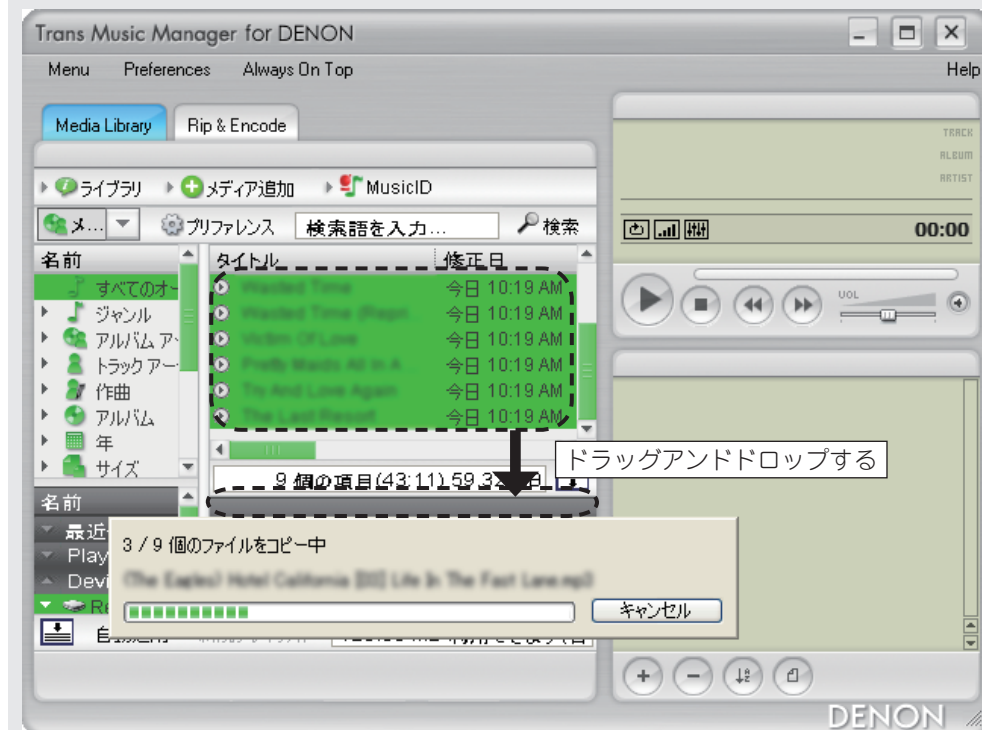
2 対象のデバイスをクリックする。



3 コピーする曲を選ぶ。



4 コピーする曲を、“Devices” の右のブラックボックスへドラッグアンドドロップする。

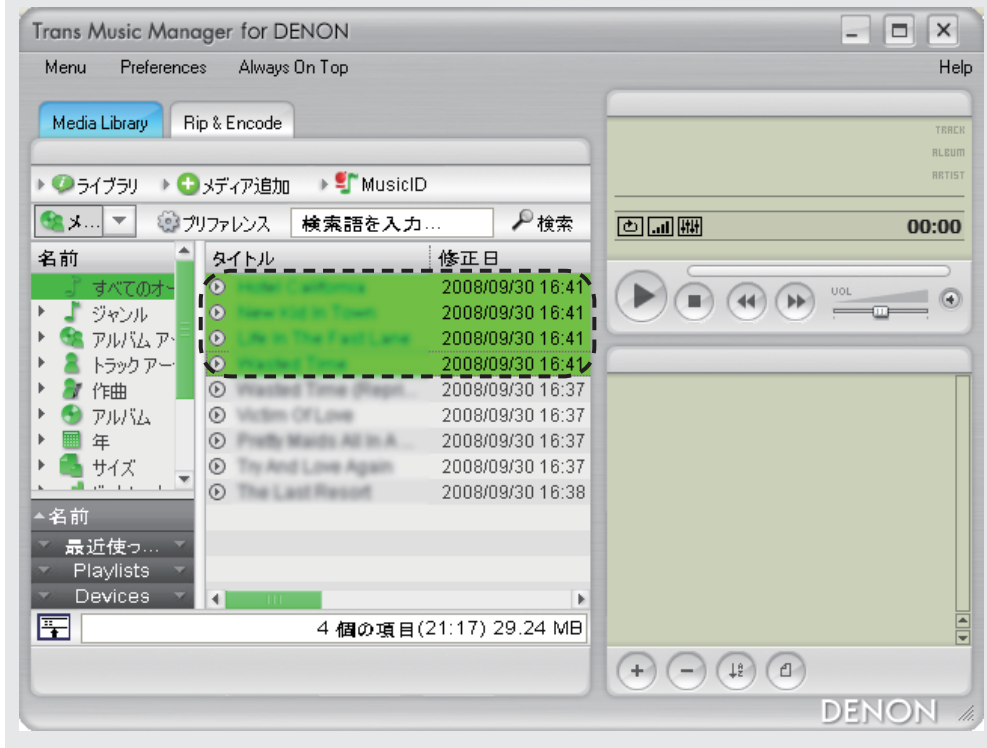


曲を削除する

一括分割や手動分割をおこなうと、Media Library 上に分割された曲が表示されます。
この分割された曲を削除することができます。

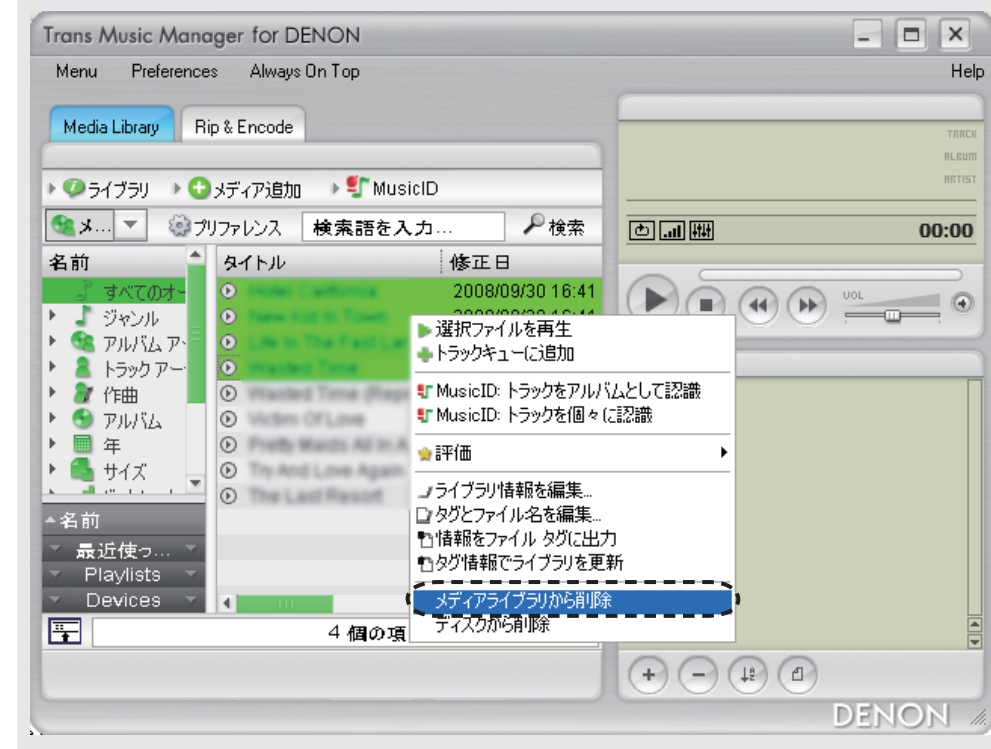
Media Libraryから曲を削除する

1 “Media Library” 上で、削除したい曲を選ぶ。



2 選んだファイル上でマウスを右クリックし、“メディアライブラリから削除”を選ぶ。

Media Library から曲が削除されます。

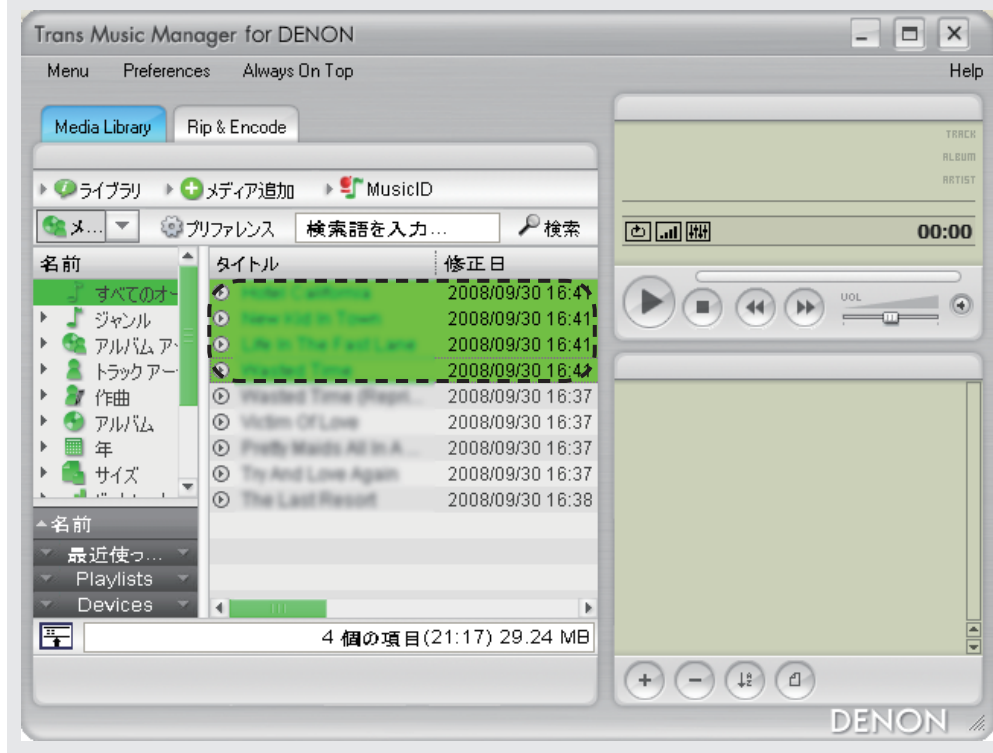


ご注意

操作2で“ディスクから削除”を選ぶと、パソコンやMedia Libraryから曲が完全に削除されますのでご注意ください。

パソコンやMedia Libraryから曲を完全に削除する

1 “Media Library”上で、削除したい曲を選ぶ。



2 選んだファイル上でマウスを右クリックし、“ディスクから削除”を選ぶ。
パソコンや Media Library から曲が完全に削除されます。

